

令和 8 年度「英語コミュニケーションⅡ」「総合英語Ⅱ」シラバス

科 目 名		必修・選択	単位数	類型
英語コミュニケーションⅡ 総合英語Ⅱ		必修	文型 4 理型 3 GC 科 4	普通・文型 普通・理型 GC 科
教科書 副教材等	Heartening English CommunicationⅡ (桐原書店) Heartening English CommunicationⅡ [予習ノート] (桐原書店) Heartening English CommunicationⅡ [ワークブック] (桐原書店) 単語集・問題集等			

1 学習目標

英語を通じて、聞いたり読んだりしたことの概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を使って情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができる能力を養う。

2 学習概要

学習目標に到達するために、英語を「聞く」「読む」「話す」「書く」の様々な活動を授業で取り入れながら、単語・熟語・慣用表現・文構造・文法を習得していきます。また、大学入試に対応できる力をつけるために英単語集や問題集を使用します。一つ一つの積み重ねが大学入試にもつながっていきます。3年生になってから受験勉強を始めるのでは間に合いません。日頃から地道に学習を積み重ねていきましょう。

3 学習方法

<予習> “疑問点を明らかにしておこう”

①予習ノート

必ず予習ノートで予習して授業に臨みましょう。新出単語だけでなく、意味の分からない単語の意味調べは必ずしておくこと。本文のどこが分からないのかを明らかにしておくことが大切です。

<授業> “授業中にしっかり身に付けよう”

①ノートの取り方

黒板に書かれた重要事項はもちろん、口頭で説明された事項も書き込みましょう。また、配付されるプリントは、ファイルして保管しておきましょう。

②確認テスト、小テスト

単語テスト（週 1 回）を始め、單元ごとにスピーキング・リスニング・リーディング・ライティング等の復習確認テストを行います。なお、単語は週 1 回のテストの前だけでなく毎日学習し、1冊を何度も繰り返すことが大切です。

③質問しよう

不明な点はどんどん質問をして、解決しておきましょう。

<復習> “授業内容はその日のうちに復習しよう”

①教科書・予習ノートの復習とワークブック

教科書の本文音声（CD またはアプリ）を聴いて、授業のポイントを確認しながら毎日音読をしましょう。その後、付属のワークブックで授業内容をしっかり復習しましょう。

②宿題

毎週末、課題が出されます。長文読解、文法語法、リスニングを含む総合問題等です。家でじっくり取り組みましょう。問題を解いた後、意味のわからない単語なども辞書で調べましょう。宿題に丁寧に取り組むことは、応用力をつけ、後に大きな力になっていきます。

<英語の外部検定試験>

高校では、まず英語検定準 2 級に挑戦し、卒業時までには 2 級の取得をめざしましょう。大学入試で全国のライバル達と肩を並べるには、英検 2 級の実力がどうしても必要です。入学後は常にこのことを意識して、他の外部検定試験（GTEC や TOEIC など）にも興味を持って積極的に取り組みましょう。英検の取得や 4 技能スコアの到達度が、大学入試等、今後の進路に役立つことも少なくありません。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考・判断・表現 (②)」、「主体的に学習に取り組む態度 (③)」の3観点で評価を行います。具体的な評価方法は以下の通りです。これらの項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(①) 知識・技能……定期考査(中間・期末考査, 学力テスト), 小テスト, 課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法

(②) 思考・判断・表現…定期考査(中間・期末考査, 学力テスト)授業に対する姿勢や態度, 発問に対する発表内容

(③) 主体的に学習に取り組む態度…授業に対する姿勢や態度, 発問に対する発表内容, 課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考・判断・表現 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価基準	各単元で習得すべき文法項目に関連する文の特徴や決まりを理解している。また、本文の内容を整理し、学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。	各単元の内容に応じてインタビュー等を行い、要点を捉えている。また、得られた情報を整理して、感想や記事をわかりやすく書いている。	各単元目標の活動をおこなうために、各単元の概要・要点・詳細・メッセージなどを捉えようとしている。

5 学習計画

学期	月	課	タイトル 【評価の観点】	学習のねらい		考査等
				指導項目	主な言語材料	
1 学期	4	L1	Laughter without Borders 【①②③】	海外で狂言を広めている外国人について説明する。 好きな日本文化について表現したり、友達にインタビューしたりする。	・未来を表す表現(未来進行形/be to do) ・時制の一致	
	5	L2	The Ongoing Voyages of Curry 【①②③】	日本のカレーが、インドカレーからどのような変遷をたどったか説明する。 オリジナルカレーのレシピを書いたり、作り方について話し合う。	・未来完了形 ・前置詞	
	6	L3	The World's Most Bicycle-friendly City 【①②③】	自転車利用を妨げる要因を挙げ、その解決策について表現する。 問題解決のための提案に対して質問したり提案書を書いたりする。	・助動詞+have+過去分詞 ・助動詞に関する表現	中間考査
	7	L4	Can You Feel Emotions in Text? 【①②③】	日本と世界の顔文字の違いについて説明する。 日常的な話題について会話を続ける技術を身に付ける。	・さまざまな動名詞 ・動名詞を使った表現	期末考査
2 学期	9	L5	Background Music and Sharks 【①②③】	保護活動の寄付を募る動画に関して効果的なBGMとその理由について表現する。 効果的なBGMについて議論する。	・さまざまな不定詞 ・seem to do / seem to have+過去分詞	学力テスト
	10	L6	The Benefits of Play 【①②③】	ゲームをすることの良しあしについて自分の考えを論理的に表現する。 遊びの利点についてプレゼンテーションをする。	・SV00の受動態 ・They say thatなどの受動態	中間考査
	11	L7	Nursing in a War Zone 【①②③】	参加したいボランティア活動とその理由について表現する。 ボランティア活動の面接で情報や考えを伝え合う態度を養う。	・さまざまな分詞構文 ・独立分詞構文/付帯状況	
	12	L8	Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	異なる意見を集約し、説明する。 科学優先か伝統優先かのミニ・ディベートを行う能力を身に着ける。	・比較に関する表現 ・従属接続詞	期末考査

			【①②③】			
	1	L9	The Next Wave in Artificial Intelligence 【①②③】	ロボットとの共生についてのエッセイを書く技術を身に着ける。 ロボットとの共生について意見交換をする。	・関係代名詞と前置詞/関係副詞の非制限用法 ・複合関係詞	
3 学期	2 3	L10	What if There Were No Moon? 【①②③】	月について学んで、イメージがどのように変わったかについて表現する。 月が地球に与える影響について、スピーチをする能力を身に着ける。	・仮定法を使った表現 ・無生物主語	学年末考査